

MITO ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

(2016-17年度 国際ロータリー・テーマ)



16.M.Yokosuka

笠原水源 吐水口 (水戸市)

女性政治家に思うこと

二川 泰久 (医療機材)

先日、「マーガレット・サッチャー～政界を夢見て」というBBC製作のドラマを見た。しばらく前にメリル・ストリープ主演の「マーガレット・サッチャー～鉄の女の涙」という映画が上映されたが、「鉄の女の涙」は政界を引退し認知症を患う彼女が、亡くなった夫の幻影を見ながら過去を回想するストーリーだが、一方のドラマでは、初めての選挙での落選、デニス・サッチャーとの結婚、双子の出産、そしてフィンチレーという選挙区で初当選するまでの彼女の半生を描いている。

そのサッチャーは1975年には保守党の党首に就任、1979年ついにイギリス初の女性首相になる。彼女が首相になった当時のイギリスは、「イギリス病」とも言われ、それまでの労働党政権の政策により国民の勤労意欲が減退し、労働紛争と経済成長不振により経済・社会とも長く停滞した時期であった。サッチャー首相は、国有企業の民営化・インフレ抑制・規制緩和・労働組合の弱体化を政策として推し進め、その政策は「サッチャリズム」

という造語にもなった。彼女の政策については評価が賛否分かれるものの、経済を回復させイギリスに国家としての自信を取り戻せたことは間違いないであろう。

さて日本においては、小池百合子氏が都知事に就任してから3ヶ月が過ぎた。豊洲市場、オリンピック会場見直しなど問題山積の都政の舵取りをどうするのか注目である。一方イギリスではテリーザ・メイ氏が新たに首相に就任した。イギリス史上二人目の女性首相としてEU離脱の具体的手続きと離脱後の国家の青写真をどう描くのかこちらも注目である。果たして政治の表舞台に立った彼女たちは、混沌とした政治から脱するリーダーシップを発揮できるのか。もしかすると政治の混乱、国家の危機を救うのは女性なのかもしれない。

もっともお隣韓国では、女性の大統領により政治が混乱の度合いを深めている。そういう「雌鳥が時を告げると国が滅びる」という言葉があることを忘れていた。

No. 19 2016・11・15

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mitoc.jp/>

水戸ロータリークラブ

■会長 高原 裕 ■幹事 成田 浩明

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

【卓 話】 DNAの傷は何を語るのか

茨城大学理学部准教授 中村 麻子 氏



本日の卓話を担当させていただきます、茨城大学理学部准教授の中村麻子でございます。今回はこのような貴重なお時間をいただき、高原会長をはじめ水戸ロータリークラブのみなさまに感謝申し上げます。

突然ではありますが、みなさま、中学生や高校生くらいのときに科学や歴史など、何かに「憧れる」時期があったのではないでしょうか。私は小さいころは天文学に漠然とした憧れをいただいたのですが、それ以上に強く興味を持ったのが「遺伝子・DNA」でした。身内の1人が小児糖尿病（I型糖尿病）という病気を発症いたしまして、その治療法というのがインスリンの自己注射のみであるということを知りました。これだけ薬がある時代に、どうして飲み薬で治せないのだろう？と不思議で仕方がありませんでした。その後、I型糖尿病は一種の遺伝子疾患であるということを知り、なぜ遺伝子に異常が発生してしまうのか、なぜその遺伝子がおかしくなると糖尿病を発症してしまうのか、どうやったら遺伝病を治療できるのか、こうした研究に関わりたいと思ったのが私の研究生活の原点であります。

現在は、DNAの傷を可視化する技術を用いた放射線による生物影響の研究を専門として行っています。まず、DNAの傷について少しお話しいたします。私たちのDNAには太陽からの紫外線や宇宙からの放射線を受けて、またはたばこの煙やウィルス感染などで、日々すさまじい数のDNAの傷が発生しています。体重60キロ程度の人間は約60兆個の細胞が集まって出来ていると言われますが、この一つ一つの細胞あたり1日数万個のDNA損傷が発生しているのです（数万の60兆倍ですから、身体全体の傷の数はすさまじいものですね！）。では、私たちのDNAは日々の生活でボロボロになっているのか？実はそうではありません。2015年度ノーベル化学賞をご存知の方はいらっしゃいますでしょうか。2015年のノーベル化学賞は

「DNAの傷の修復に関する研究」を行った3人の科学者に対して贈られています。そうなのです、私たちの細胞はDNAに傷ができるても、それを修復する機能をちゃんと備えているのです。ですので、日常生活において発生するDNA損傷については、ほぼ100%修復されていることになります。ちなみに、細胞内に発生したDNAの傷というのは本来目で見ることはできませんが、傷のまわりにだけ生じる特殊なたんぱく質を染色しますと観察することができます。このDNA損傷を検出する技術が私の専門とするところであり、この技術を用いてどの程度のDNAの傷が人の体に何を引き起こすのかについて研究を行っています。いまだに「DNAの傷が何個できたら癌になるのか？」という疑問にはハッキリとお答えできないのですが、DNAの傷というのは思いのほか、個々人の健康状態を表しているように感じています。例えば、年齢を重ねるにつれてDNAの傷は蓄積していくですし、身体に炎症反応が起こっているとDNA損傷の数は多くなります。身体や細胞というのは正直なのですね。私個人の意見ではありますが、生体内のDNAの傷を知るということは、その人の、その時の、健康状態を知る健康バロメーターなのではないかと思っています。

最後に、放射線生物学を専門とする研究者の一人として、2011年の福島第一原発事故から得た教訓についてお話しいたします。ここ水戸でも多くの人が放射線という目に見えない謎の物体に対して不安を抱かれたことかと思います。しかし、あの事故の際、科学者が一体どれだけ正しい言葉で放射線について一般市民の方に説明できたでしょうか。さらなる混乱を生まなかつたでしょうか。今でも自問自答が多いものです。Science（科学）という言葉は、ラテン語のScientiaという「知識」を意味する言葉を起源にしているそうです。科学とは物事に対する新しい知識を得ることに他なりませんが、私としては、その知識を専門的知識として科学者の間で終わらせるのではなく、正しく、わかりやすく、社会に還元することも科学者の役割なのだと強く思っております。本日の卓話が皆様の新しい知識の一つとなれば幸いです。

例会報告

11月第3例会

司会 笹原委員

◇ ゲスト紹介

茨城大学理学部准教授

薬学博士 中村 麻子 氏

◇ 会長の時間

高原会長

本日の卓話は、茨城大学 中村麻子先生です。ご専門は、放射線生物学・細胞生物学だそうです。中村ラボの学生さんの研究テーマには「老化に伴うDNA損傷修復機能低下の機構解明」などとのことです。とても楽しみです。宜しくお願ひ致します。

本日来年度の役員・理事(案)が皆様のBOXに入っていたと思います。先週の理事会で承認されたものです。ご確認お願ひ致します。

◇ 出席報告

岡崎委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
116名	64名	52名	57.66%

前週訂正出席率 76.99%

前々週訂正出席率 79.31%

◇ 会員メークアップ

11/10 水戸好文RC 脇谷 誠、二川 泰久
11/10 土浦RC 井上 壽博

◇ にこにこBOX

山口(政)副委員長

高原会員……中村先生、卓話宜しくお願ひ致します。お昼なのでお酒を出せずスミマセン。脇谷会員……中村先生、卓話楽しみにしております。

増山会員……会計の推移、順調です。

小田部会員……茨城セレクション125決まりました。お世話になりました。

吉井事務局員……クラブより結婚御祝金を頂きました有難うございました。今後共、宜しくお願ひ致します。

本日の合計	5件	25,000円
-------	----	---------

◇ 財団BOX

幡谷 誠会員……財団の友献金(ポリオプラス)

(第3回) \$100 10,200円

(累計 \$6,300)

小林大次郎会員……財団の友献金

(第8回) \$100 10,200円

(累計 \$4,800)

高沢 彰会員……財団の友献金(ポリオプラス)

(第10回) \$100 10,200円

(累計 \$4,000)

川崎 洋会員……財団の友献金

(第5回) \$100 10,200円

(累計 \$2,500)

長野 久嗣会員……財団の友献金

(第2回) \$100 10,200円

(累計 \$1,200)

田中 邦彦会員……財団の友献金(ポリオプラス)

(第1回) \$100 10,200円

(累計 \$1,100)

和田幾久郎会員……財団の友献金

(第7回) \$100 10,200円

(累計 \$700)

高貫 修会員……財団の友献金

(第5回) \$100 10,200円

(累計 \$500)

中村 昭彦会員……財団の友献金

(第3回) \$100 10,200円

(累計 \$300)

この計	9件	91,800円
-----	----	---------

◇ 米山BOX

高沢 彰会員……米山功労者献金

(第4回) 10,000円

(累計 340,000円)

足立 修会員……米山功労者献金

(第3回) 10,000円

(累計 130,000円)

井澤 徹会員……準米山功労者献金

(第5回) 10,000円

(累計 50,000円)

この計	3件	30,000円
-----	----	---------

◇ 幹事報告

成田幹事

1. 第3回水戸市内6RC会長幹事会が開催されます。提案議題のある方は幹事までお願いいたします。

とき 12月19日(月) 18:30

ところ 中川楼

出席者 幡谷 誠第3分区分ガバナー補佐、
二川泰久ガバナー補佐チーフセク
レタリー、高原 裕会長、成田浩
明幹事

2. 日本ロータリー財団学友会が主催する、ロータリー財団100周年記念シンポジウム「国際人道支援の第一線で活躍するロータリー奨学生学友報告」が開催されます。

とき 11月27日(日) 13:00

登録 13:30~16:30 シンポジウム

ところ JPタワーKITTE 4Fホール

東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
TEL 03-5222-1800

登録料 ロータリアン 10,000円

そのほか (米山奨学生、IA、RA、
家族等) 3,000円

講演 日本の学友第2期生

緒方 貞子氏

(元UNHCR高等弁務官)

3. アトランタ国際大会は、2017年6月10日から14日まで開催されます。今年度はロータリー財団100周年のイベントや展示、財団100周年記念誌「世界でよいことをしよう：人びとの心に触れた100年」のサイン会、ロータリー財団100歳の特別誕生パーティー、ゲスト講演、R.I.会長主催平和会議が開催されます。

登録料 2016年12月15日まで

340ドル

2016年12月16日~2017年3月31日

415ドル

2017年4月1日以降

490ドル

* 登録はマイロータリーからオンライン登録ができます。

会員の広場

第一回水戸黄門漫遊マラソン(結果報告)

吉原 清寿(測量技師)

10月30日予定通り第一回水戸黄門漫遊マラソンが開催されました。朝5時に起床し、軽く家の周りを散歩。そしてスタート3時間前に消化の良い朝食をとって準備万端に。会場に着くと参加するランナー皆が早そうな感じに見えました。「チーム共同」は準備体操の後、水府橋付近を軽くランニング、少し体が温まり臨戦態勢に入りました。スタート地点に移動し、その時を待ちました。

高橋市長の合図で、スタート。申告予想タイムを6時間としたためD枠で、スタートラインまで6分かかりました、それから順調に走っていました。沿道の声援が気持ちよく、気分はオリンピック選手です。軽く水を取り、コップを投げて一流ランナー一気取り。県庁前で知り合いの応援を受け軽くガッツポーズ。第一閑門をクリアして、順調に進みます。小吹町を過ぎて地元萱場町に入り更にヒートアップ。近所の人から、「あれ、何走ってんの?」「大丈夫?」内緒にしていたのもっともです。

しかし第二閑門を通過して、25キロを過ぎるとついに歩いてしまい、走・歩半々くらいになり、何とか第三閑門を通過、千波湖へ、第四閑門を目指します。体のあちこちが痛くなり、歩く時間が長くなってしまいました。完走が厳しく思え、時計を見る回数が増えてきました。無事最終閑門を通過、最後の急な坂を上り何とかゴールにたどり着きました。ゴールした感動とともに味わう達成感はなんとも言えないものでした。

今、体はぼろぼろですが、記録証を鞄に入れて自慢しています。応援して頂いた方々有難う御座いました。



週報担当 藤田 浩之 委員

例会予告

11月29日(火)

—イニシエーションスピーチ—

卓話「電力の安定供給における現状と課題」

河合 雅彦 会員

12月6日(火)

卓話「ベトナム奉仕活動報告」

稻毛 一樹 国際奉仕委員長

12月13日(火)

卓話「大丈夫ですか!?相続の話」

増山 英和 会員

後藤 直樹 会員